

机の前に張ること!

「自分の決めた志望校にどうしても入りたい」と腹の底から思うこと!

そう思えば、つらい受験勉強も楽しいものになります。受験は自分を強くします。受験を乗り越えれば、一回り大きな人間になります。

入試までの各教科の勉強法

これからは、学校がある時は3時間以上、ないときは6時間以上、勉強しなさい。
(机に向かうだけではだめです。)

数学

1つの問題で考える時間は10分間までです。ここで解ければ解答を見る。そして解法へとさかのぼる。この段階で、解説の解法がわからなかったら、先生に質問してください。

数学の場合わからなかったら、時間だけがズルズルと過ぎていくばかりです。時間を区切って出来るだけ多くの問題をこなし、解法を覚えるようにしてください。解法を覚えるということは、次に同じ傾向の問題が出てきたら解けるということを意味します。テストではどの解法を使うか考えるだけです。

英語

数学と同様、まずは、自力で解いてみる。こちらは、1つの問題で考える時間は5分です。それで、わからなかったら、飛ばして最後に解答を見て、解法へとさかのぼってください。長文問題は、最後に訳文を読んでから、出来なかった問題にもう一度チャレンジしてください。そして、英単語・文法を覚え、解説の読解法を覚えるようにしてください。尚、1,2年の英単語は必ず書けるようにすること。

国語

現代文は、かなり長い問題文が出題されます。日ごろから長い文を読んで慣れておきましょう。こちらは、英語の学習法に準じます。考える時間も英語と同じ5分としてください。答えを抜き出す問題、まとめる問題は、該当する問題文に赤線を引くようにすること。漢字は、書きの問題は、小学校5,6年(漢字検定6,7級)、読みは中学校で習う漢字が出題されます。古文は、自力で解くのは数学、現代文と同様ですが、その後は、英語の長文読解と同じです。最後には、解答の解説の読解法と作品内容を覚えるように努力してください。漢文も同様です。また、最近では、現代語訳がついている問題が多くなってきています。現代仮名遣いを覚え、現代語訳さえしっかり理解できれば、古文の部分が理解できなくても解ける問題が多くなってきています。それだけ高得点が取れる問題が多くなってきていますので、ケアレスミスで点数を落とさず、満点を取るように心がけましょう。

理科・社会

これに関しては、覚えることが第1です。まずは、一冊、基礎的な問題集(夏期講習に使った問題集など)を全て正解するまで繰り返しやってください。(最初に正解した問題は除き最低3回は繰り返す。)そして、計算問題(理科にも社会にもあります。)は、基礎的な問題集に出てきた問題の類題もやってみましょう。いままでやってきた問題にあります。

みなさんには、もう時間が限られています。余分なことは考えず、受験勉強だけに集中してください。春を笑顔で迎えられるように、今の自分そして未来の自分を大切に入試までの日々をがんばってください。期待しています。